

「葉山町公共施設等将来構想」、「財政シミュレーション」及び「中期財政見通し」の公表にあたって

令和7年6月20日

葉山町長 山梨崇仁

公共施設再整備の方向性をまとめた「葉山町公共施設等将来構想」、およびそれにもなう財政シミュレーションと中期財政見通しの公表にあたり、一言取りまとめのご説明を申し上げます。

今回の将来構想におきましては、各施設の基本的な方向性を定め、それらを積み上げる形で構想の全体を構成しました。さらに財政については、時代の進展にもなう物価高騰や人手不足などの様々な環境変化を織り込むよう検討を重ねましたが、経済・社会の変化の予測が非常に困難な昨今の国際事情、国内物価動向において、その見極めは困難であり、公共施設再整備の事業計画及び財政計画の設定は引き続き議論を重ね、慎重に行うべきと判断しています。

そこで、令和7年度の施政方針では、「具体的な施設の姿については広く議会や町民の皆様のお力をいただきながら検討を続け、将来の施設更新の設計・施工までつなげたい」と記載いたしました。

公共施設整備は、将来の姿を描き、将来のまちづくりへ影響する大変重要な決定であり、それにもなう財政支出は多額な経費を必要とし、将来世代へ大きな負担を残すことになります。そのため、本構想を基本として、今後も常に町民の皆様や議会、関係者の皆様と広く知恵やアイデアをいただきながら適時適切に公共施設再整備の事業計画を確定させていきたいと考えております。それにもない、財政につきましては、随時更新を図る「見通し」として現段階の予測を公表いたします。

行政計画は、行政運営を合理的かつ民主的に進めるために策定されるものであり、明示された目標に向けて、長期的・継続的な視点から施策の推進過程を管理することを目的としています。その必要性を深く認識し、引き続き、精緻なシミュレーションを重ね、事業目標が明確に設定された段階で財政計画として取りまとめてまいります。

葉山町教育委員会教育長 稲垣一郎

未来を担う子どもたちのための教育環境を充実させる、葉山町の課題の一つであります、町立小中学校の再整備の構想につきまして、現状の課題と今後の取り組みに対する考えを申し述べさせていただきます。

ご承知の通り、本町の小中学校は建設から長い年月が経過し、施設の老朽化が深刻な課題となっております。私たちは、子どもたちが安全・安心に学び、心豊かに成長できる環境を整備すること、そして、地域コミュニティの核として町民に開かれた学校を創造することは、現代に生きる私たちの責務であると考えております。

しかしながら、この構想の推進にあたり、私たちは極めて厳しい状況に直面しております。

第一に、財政的な課題であります。現在の構想では、事業費が 190 億円以上となる見込みであり、本町の財政にとって極めて大きな負担となります。折からの社会状況、とりわけ建設資材の高騰や人件費の上昇は、都内においても公共工事の入札不成立が相次ぐ事態を招いております。これにより、今後の経費の見通しを正確に立てることが困難な状況にあり、物価がさらに上昇する可能性も否定できません。多額の起債をどのように将来にわたって責任ある返済を果たしていくのか、町全体の課題として、慎重かつ緻密な検討が不可欠であります。

第二に、教育環境の維持に関する課題であります。再整備の過程において、恐らく学校の一つは、一時的に仮設校舎、いわゆるプレハブへの移転を余儀なくされます。保護者の皆様、そして何より子どもたちが、学習環境の変化に不安を抱かれることは当然であり、そのご懸念を我々は真摯に受け止めております。限られた施設の中で、これまでの教育カリキュラムが質を落とすことなく成立するのか。体育館やグラウンドの使用をどのように調整し、子どもたちの健やかな心身の育成に不可欠な体育授業や課外活動を保障するのか。さらには、一つの敷地内に二つの小学校が一時的に併存することに伴う、児童の安全確保や円滑な学校運営のあり方についても、その整理はまさにこれからという状況でございます。

これらの課題は、いずれも決して容易なものではございません。更に想定できない人口減少も大きな課題です。しかし、私たちはこれらの困難を理由に、未来への投資である学校再整備を先送りすることはできません。

教育委員会といたしましては、今後、以下の決意をもって、この難局に取り組んでまいり所存です。

まず、財政課題に対しては、関係各課とこれまで以上に緊密に連携し、事業費の精査とコスト縮減に最大限努めてまいります。同時に、国の補助金など活用可能な財源を徹底的に模索し、将来世代に過度な負担を残すことのないよう、責任ある財政計画の策定に貢献してまいります。

そして、最も重要なこととして、いかなる状況下においても「子どもたちの学びを最優先に守り抜く」ことをお約束いたします。仮設校舎での学校生活が、子どもたちにとって有意

義なものとなるよう、教職員、保護者、そして地域の皆様のお知恵を拝借しながら、万全の準備を進めます。授業計画、施設利用、児童間の交流について、あらゆる事態を想定し、子どもたちの教育機会が損なわれることのないよう、全力で取り組んでまいります。

葉山町の未来そのものである子どもたちのために、新しい時代の学校を築き上げるこの事業は、町全体で知恵を出し合い、困難を乗り越えていくべき事業です。事業の進捗や課題につきましては、今後、より一層の透明性をもって、皆様に丁寧な情報提供を行ってまいります。

何卒、本構想が直面する厳しい現実をご理解いただき、この困難な事業を前に進めるため、引き続きのご指導ご鞭撻、そして力強いご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。